

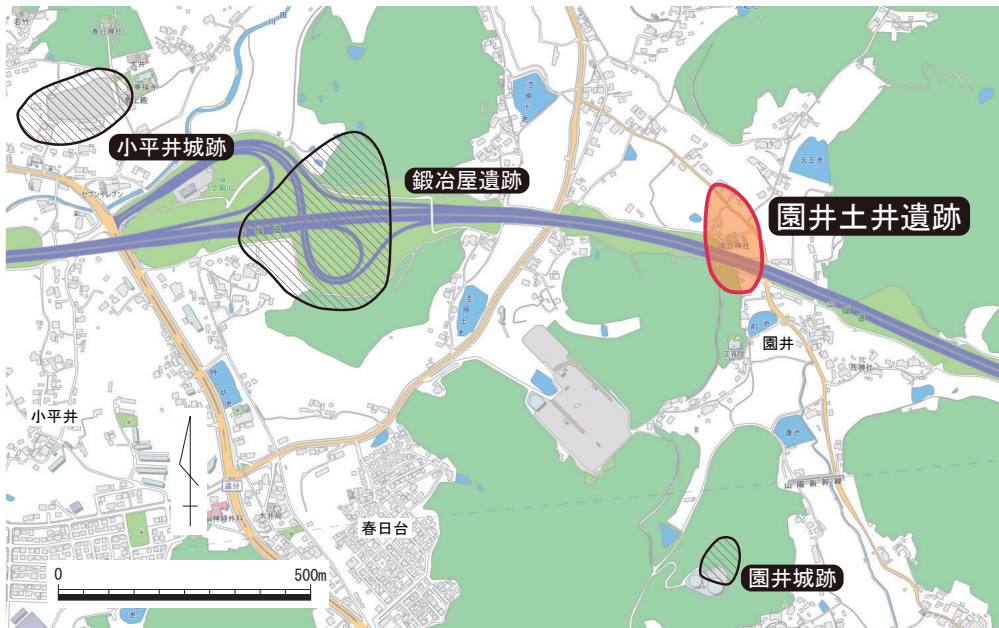
県道園井里庄線地方道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査  
 そのいどいせき  
**園井土井遺跡 現地説明会資料**

令和6年8月7日（水曜日） 園井土井遺跡発掘調査現場（笠岡市園井）

主催：岡山県古代吉備文化財センター

岡山県古代吉備文化財センターでは、県道園井里庄線地方道路改築に伴い園井土井遺跡の発掘調査を令和6年5月から実施しています。本遺跡では昭和59・60（1984・85）年にも山陽自動車道の建設に伴う発掘調査が行われています。その際は礎石建物を<sup>そせき</sup>含む17棟の建物や<sup>さく</sup>柵を伴う長さ30m以上の堀跡などが<sup>ほりあと</sup>見つかると、15世紀から16世紀ごろを中心とする館の跡と評価されてきました。

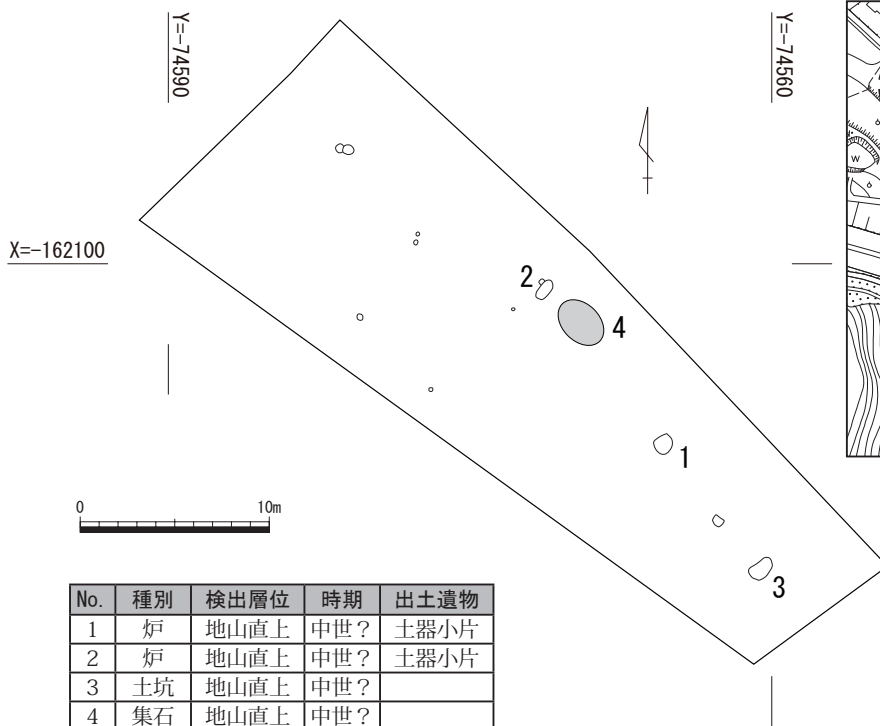
今回の調査では、既知の館跡と同じような時期と考えられる<sup>ろあと</sup>炉跡や<sup>ほったてぼしらたてもの</sup>掘立柱建物が<sup>がいえんぶ</sup>見つかると、館跡の外縁部における人々の生活や土地利用の様子が判明しつつあります。



園井土井遺跡の位置と周辺の中世遺跡・城館（S=1/15,000）

時代区分	古代		中世											近世		
	平安時代		鎌倉時代					室町時代			安土・桃山時代			江戸時代		
								南北朝時代	戦国時代							
主な歴史的出来事	1156 保元の乱	1167 平清盛太政大臣となる	1192 鎌倉幕府の成立	1221 承久の乱	1232 御成敗式目	1274 1281 文永・弘安の役（元寇）	1333 建武の新政 鎌倉幕府の滅亡	1336 室町幕府の成立	1392 南北朝の合体	1467 応仁の乱	1573 室町幕府の滅亡	1574 備中兵乱	1582 本能寺の変 備中高松城水攻め	1600 関ヶ原の戦い	1603 江戸幕府の成立	
						園井土井遺跡の館跡が営まれた時期										

中世の主な出来事と園井土井遺跡の時期



園井土井遺跡の範囲と調査区の位置 (S=1/5,000)・西側調査区の平面図 (S=1/400)

西側の調査区は南から北へと緩やかに下る地形となっており、その傾斜が緩やかになったところで複数の炉などが見つかりました。No.1炉は一辺80～90cmの隅丸方形をしており、地面を掘りくぼめた底部には粘土を貼り付けて炉床としています。内部は激しい熱を受けていること、溜まった土に多くの炭化物が含まれていたことから、炭焼きなどで用いられたと思われます。



No.1炉の検出状況

## 園井土井遺跡で見つかった焼き物

園井土井遺跡ではたくさんの焼き物が出土しています。それらの例を紹介します。

- 土師質土器：赤褐色の素焼の焼き物。皿や椀、鍋などが出土。
- 備前焼：備前市周辺で今も作られている、岡山県を代表する焼き物。すり鉢が出土。
- 亀山焼：倉敷市玉島八島の亀山周辺で焼かれたうつわ。甕やすり鉢が出土。
- 青磁・白磁：それぞれ青緑色、白色の磁器。本遺跡で出土しているものは中国から輸入された磁器とみられる。いずれも椀などが出土。

そのほかにも、数は少ないですが瀬戸焼や天目茶碗などが出土しています。

本資料は調査途中の暫定的なものです。引用・改変・再配布などはお控えください。

【作成】岡山県古代吉備文化財センター  
〒701-0136 岡山県岡山市北区西花尻 1325-3